

# 新刊紹介

図書館に置いてある最新本の中から  
おすすめのをピックアップ。  
バラエティーに富んだ  
新刊を紹介します。

町立指江図書館 / 電話 0996(88)6500

## 脳を活かす生活術

茂木 健一郎 著



毎日の習慣で脳を成長させる方法を86通り紹介しています。笑顔で過ごしている人は脳をフルに使っているのだそうです。

## イラストで学べる裁判員制度

裁判員制度研究会 編



5月からはじまる裁判員制度。裁判員制度とはなにか、裁判所のシステムはどうなっているのか、イラストを用いて分かりやすく説明してあります。

町立鷹巣図書館 / 電話 0996(86)1111

# 長島文芸

## 明神俳句会

島のどか風車のどれも働かず  
輪を描く煙草のけむり長閑なり  
蜚鳥賊地震の越後に灯を点す  
花檣山の母校の十五人  
又今年茅花畑ふえ鎌を研ぐ  
四月馬鹿体重計のあららら  
人の名を忘れやすくて四月馬鹿

二階堂妙子  
関 佳代美  
筑前 初市  
淵脇 護  
大堂 早苗  
迫口 君代  
山寄加代子

## 長島短歌会

沖合いのあまたの小舟このひと日魚釣るるらし場所を替へざる  
竹の子や若布の初物いただきつこの島の恵み老ひて有難し  
行く道の遠くに耀ふ藤の花うす紫の匂ひ流れ来  
咲き満つる桜の下にて大群の鶴送りつつ胸あつくする  
咲きさかる桜さくらにいだかれる鷹巣城は花の宴よ  
じゃが薯は箱の中にて芽吹きをり瑞瑞しくて日毎伸びゆく  
磯御殿の老松に荒ぶ浜風に在りしの篤姫惚ばれてくる  
苔厚く積まれ置かれし石の群古の墓とぞ暗き木下に  
鴨は鋭く鳴きつつ飛び交ひてビニールハウスの赤茄子つつく  
母の齢はるかに越へて新しき命身ごもる孫と昼寝す  
隣り家の薄紫の藤房は雨後の陽に映えあまた揺れをり

本田 幸子  
町田キクエ  
松元 睦子  
吉田 映子  
市尾 操  
岩下 ち江  
岩下 房代  
榎平 頼子  
米尾 和子  
坂ノ下典子  
中山タマエ

## 創生短歌会

熱き砂に裸足ではねて戯れし想い出の浜に潮の満ちくる  
杯にいっぱい程の花見酒頂きて足る命と知れり  
赤土に育てられたるじゃがいもの眩しきいのち両手で拾ふ

浜田美代子  
浜畑 松枝  
林 ヒロ

## 一般作品

吾の名を呼び捨てにするは叔母ひとりその呼び捨てにさるるが嬉し  
じゃが芋の出来は如何にと電柱に止まる鴉が見おろしている  
暖かき日が差すからに遠回りして帰ったりちゃんちゃんこ着て  
何となく親孝行をしたような母とおんなじ味に茹煮る  
捨てられし豊作なりし大根が花を掲ぐる首をねじ曲げ  
検尿の紙のコップが手の平に六十五才のぬくみ伝え来  
手力を右手にこめて立ち上がる生きる頼りぞ手首の力

竹之内重信  
野村 益信  
大塚 洋子  
石原百合子  
村上 義彦  
宮元 司  
山下 学

切り通し被さるほどの桜かな  
五月雨の煙る港や戻り船  
我事よ年取事に弱るもの仕事合せて成す事なのよ  
母見舞うお国訛りもなつかしくやさしさあふる里はあたたか

笹元 政美  
桐野 眞実  
町田 末則  
中仮屋辰子